

**第 2 4 回 高砂市上下水道事業審議会
議事要旨**

開催日時	令和 8 年 2 月 6 日 (金) 1 0 時 0 0 分～1 2 時 0 0 分
開催場所	高砂市役所 南庁舎 2 階 会議室 2
出席者	山口会長、渡部副会長、糝谷委員、松本委員、西牟田委員、濱中委員
欠席者	山本委員
議 事	1 開会 2 上下水道事業管理者あいさつ 3 協議事項 (1) 水道事業・工業用水道事業・下水道事業経営戦略(案)について (2) 経営戦略見直しについての答申(案)について (3) その他 4 閉会
資 料	(次第書) 第 2 4 回高砂市上下水道事業審議会 会議次第 (資料 1) 「高砂市上下水道事業経営戦略(案)」に対する市民意見公募 (パブリックコメント)の結果について (資料 2) 高砂市水道事業経営戦略(案) (資料 3) 高砂市工業用水道事業経営戦略(案) (資料 4) 高砂市下水道事業経営戦略(案) (資料 5) 高砂市水道事業、工業用水道事業及び下水道事業の経営戦略 改定について(答申)

議事の経過	
発言者	発言の要旨
事務局	<p>1 開会</p> <p><本日の資料の確認></p> <p><本日の進行について説明></p> <p><議事経過及び写真撮影の許可、市のホームページへの掲載了承願ひ> → 承認</p> <p><事務局紹介><出席者紹介> <傍聴希望者の確認> → なし</p>
管理者	<p>2 上下水道事業管理者あいさつ</p>
司会者	<p>3 協議事項</p> <p>それでは審議会を始めてまいりたいと思います。</p>
会長	<p>(1) 水道事業・工業用水道事業・下水道事業経営戦略(案)について</p> <p>協議事項(1)について事務局から説明をお願いいたします。</p>
会長	<p><(1)「高砂市上下水道事業経営戦略(案)」に対する市民意見公募(パブリックコメント)の結果について説明></p>
会長	<p>事務局から説明がありました内容について、何かご意見、ご質問ありますか。</p>
会長	<p>資産維持費の説明が分かりづらいので、もう少し分かりやすく説明してください。</p>
上下水道部	<p>資産維持費について説明させていただきます。</p> <p>資産維持費とは、将来の投資を想定したもので、物価変動、施工基準の変化等に伴う費用の不足分に対応し、減価償却費とは別に水道施設の計画的な更新等の原資として内部留保されるべき額になります。その額は、維持すべき資産の現在価格に、資産維持率を乗じて算出します。</p> <p>資産維持費の金額は、資料2の最後のページをご覧ください。原価計算表の枠組みの料金水準についての説明があり、「資産維持費 = 対象経費 × 資産維持率(1%)」で算出していますが、資産維持率1%でも大丈夫なのかという意見がございました。資産維持率は、各水道事業者の中長期的な施設整備・更新計画及び財政計画等に照らし、適正な水準となるよう決定するものとされています。</p> <p>高砂市では、水道事業経営戦略の投資・財政計画において、投資事業の内容や企業債充当率を見直し、水道料金改定を考慮して、内部留保資金等がマイナスとならないように計画を立案し、資産維持費及び資産維持率を前回より下げて設定しました。</p> <p>黄色のマーカ一部分について、100.65%となっていますが、料金収入の割合が100%を超えているということは、料金収入により料金対象経費を賄うこと</p>

<p>管 理 者</p>	<p>が可能となっており、資産維持率1%でも大丈夫であるという試算になりました。</p> <p>資産維持率ですが、水道事業は公営企業であり、減価償却を行うことになります。水道管は約40年の減価償却期間があり、例えば、水道管を1億円で整備した場合、毎年250万円を減価償却費として使用料の算定コストの中に入れてプールします。すると、40年後には1億円が貯まるので、その分で更新することができます。減価償却期間が済めば、そのお金で更新できますが、40年前に1億円で実施した事業を、40年後に同額の1億円で実施することは不可能です。</p> <p>その差を補填する資産維持費ですが、日本水道協会では、3%程度が妥当だという意見があります。</p> <p>前回の料金改定の際、経営戦略において30%の料金改定が必要であるとしていました。</p> <p>例えば、標準的な3%の資産維持費を使用料の算定コストに入れてしまえば、料金改定が50%程度になったと思います。そこで維新維持費を3%にして50%の料金改定をするよりも、改定率から逆算して2%の資産維持費で、30%の料金改定をお願いすることとしました。</p> <p>今回については、老朽化や耐震化率を上げていく投資目標の中で、令和11年度に資金不足が生じます。その資金不足を補うには、資産維持率1%で20%の料金改定を行う想定としております。資産維持率3%とした場合は、水道料金の値上げ額が増えます。その値上げ分を市民の負担増でお願いするのではなく、負担を軽減するため、今回は資産維持率1%で算定の中に反映させております。</p>
<p>会 長</p>	<p>お二方の説明を聞くとよく分かりますが、この文章から読み取れるかというところ少し難しいと思いますので、公表されるときに少し考えていただけたらと思います。</p>
<p>副 会 長</p>	<p>書き方についてですが、令和11年度に水道料金20%引き上げを想定しておりと記載していますが、20%を想定した検討やシミュレーションに統一したほうがいいと思います。想定だともう決まっていると捉えられてしまうので、そういった記載の方がいいのではないかと思います。</p>
<p>会 長</p>	<p>もう少し文章を練り直して、より分かりやすくしていただければと思います。</p>
<p>副 会 長</p>	<p>3ページの老朽化について、今のままではなかなか効果は市民に見えないので、必要性を認識するのは難しいと思います。例えば、現在漏水や断水が毎年のようにこれだけあるという情報でも良いので、その状況を紹介してはどうかと思います。</p>
<p>管 理 者</p>	<p>広報たかさごやホームページを使って、随時そのような情報を出していきたいと思えます。</p>
<p>会 長</p>	<p>できるだけ分かりやすく、市民の方に伝えていくというのが良いと思いますの</p>

	<p>で、文章の表現方法や使用する資料を工夫していただければと思います。</p>
会 長	<p>協議事項（１）水道事業・工業用水道事業・下水道事業について事務局から説明をお願いいたします。</p> <p><（１）水道事業経営戦略(案)について説明></p>
会 長	<p>事務局から説明がありました内容について、何かご意見、ご質問ありますか。</p>
委 員	<p>建設デフレーターによる工事費の上昇率は３％でしょうか。建設工事の場合、私の体感では３％には収まらず、将来にわたって見たときに、人手不足等々でもっと上がっていると思います。令和１１年度の水道料金２割アップというのはかなり少ない気がしており、毎年少しずつ上げるといった方法もあると思います。企業債とは要するに借金ですが、金融機関で借りているのですか。</p>
上下水道部	<p>政府資金や地方財政金融機構からです。</p>
委 員	<p>国債がそうになっていくことがほとんどで、悲観的に考えてはいけませんが、少なくとも、工事費用でいえば３％では収まらないので、再度シミュレーションし直した方がいいかと思います。</p>
上下水道部	<p>工事費の上昇率は、過去１０年の平均値ということで、水道で３．１％、下水道で２．６％としておりますが、直近３年平均になると、５～８％程度のところにいるかと思います。おそらく、今後の上昇基調もあるので、毎年のように審議会で、決算後に収支状況を確認していくことになると思います。</p> <p>現段階では、２０％と言わせていただいておりますが、あまりにも上昇率が大きくなっていく状況だと、別の案を考えていかなければならないので、１年ごとにローリングしながら状況確認をしていきたいと考えております。</p>
会 長	<p>今回、１０年計画で立てていますが、経済環境がインフレ基調になっている中、ずっと安定した想定で考えていると、どうしても足りなくなるという事態が起こるので、実際のところ２～３年で見直す方が良いのではないのでしょうか。</p>
管 理 者	<p>おっしゃる通り、建設物価も上がっており、また通常物価上昇や人件費の上昇など、予測もつかないような勢いで上がっています。しかし、この物価上昇がいつまで続いていくのか、このまま続いていけば日本経済がもつのかどうかというのがあります。この経営戦略自体は５年に１度見直しを行います。見直しの時期が早まる可能性はあるかもしれませんが、年々決算が出れば、ローリングをしていきます。加えて、現在、工事費については、設計ベースで考えています。公共工事は入札をしているので、執行残がこの中から出てくることもあります。工</p>

	<p>事費が増えれば、企業債の充当率を上げたりしていますが、企業債の方で財源は確保しています。よって、建設費が上がれば、企業債でカバーすることになります。</p> <p>当該年度は構いませんが、借入額が増えれば後年度に影響する状況になります。そのような中で、各年度しっかりとローリングしながら、3～5年で見直しをしようとしていますので、よほど物価上昇に追いつかないという状況にならないければ、その中で改定を検討させていただきます。</p> <p>予測を立ててやっていきますが、その予測に縛られず、状況に応じて更新していくという柔軟性を持って対応していくしかないかと思います。逆に言えば、インフレで賃金やモノの物価が上昇していくので、今背負った借金は将来的に安く感じるときもあります。それが、いつまで借金をすれば安く感じられるかどうかということが重要であるかと思います。今借り入れた100万円が、10年後には給料1か月分程度の価値になっているということもあり得るので、今の経済基調からあまり起債に慎重になる必要はないかと思います。</p> <p>物価がデフレの状況になると、重荷になることもあるので、経済状況を見ながら、今ならいけるというタイミングで起債していただくなど、柔軟に対応しながら進めていくということを前提に、今回このような戦略を提案させていただければと思います。</p> <p>< (1) 工業用水道事業経営戦略(案)について説明 ></p>
会 長	<p>事務局から説明がありました内容について、何かご意見、ご質問ありますか。</p>
会 長	<p>100年の伝統があります。やはり豊富な水源を確保できる場所に製紙工場ができたことは、高砂のまちの成り立ちとも関わる大事なところかかと思っておりますので、しっかりと議論していただいて、両者が納得できるような形で進めていただきたいです。</p> <p>< (1) 下水道事業経営戦略(案)について説明 ></p>
会 長	<p>事務局から説明がありました内容について、何かご意見、ご質問ありますか。</p>
会 長	<p>下水道事業については改定の必要なしということで、先ほどの問題はありますが、何とか令和17年度まで今のシミュレーション上で大丈夫だということによるのでしょうか。</p> <p>他に投資しなければいけないこともあるかと思っております。せっかく税金を使うのであれば、できるだけ地元の経済が回るように工夫していただければ、より良いかと思っておりますので、そこをもう少し考えながら進めていただければと思います。</p>

<p>会 長</p>	<p>協議事項（２）経営戦略見直しについての答申(案)について事務局から説明をお願いいたします。</p> <p><（２）経営戦略見直しについての答申(案)について説明></p>
<p>会 長</p>	<p>事務局から説明がありました文案について、何かご意見、ご質問ありますか。ご意見がなければ、この答申(案)を審議会の結論にしたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>それでは、この文案のまま答申していきたいと思いますので、答申の準備ができましたら、上下水道事業管理者に答申したいと思います。</p> <p><高砂市上下水道事業審議会会長から上下水道事業管理者へ答申></p>
<p>管 理 者</p>	<p>令和５年１１月に３事業の経営戦略の改定について諮問させていただき、その間２年強にわたりまして、熱心にご意見を賜り、誠にありがとうございました。先ほど、答申書を確かに受領いたしました。</p> <p>今後は、この答申書に基づいて、今の経営戦略(案)の内容を精査させていただき、正案とさせていただきたいと考えております。</p> <p>この経営戦略の中にあつた投資・財政計画で、文言や事業費という形で表現させていただいていますが、しっかりと積み上げたものがありますので、この事業を確実に実施していくとともに、収支計画についても、なお一層経営努力してまいりたいと思います。</p> <p>また、議論にもありましたように、経済情勢等々、非常に分かりづらい状況になっております。毎年しっかりと確認させていただく中で、必要に応じて３年ないし５年の中で、見直しをさせていただきたいと思います。</p>
<p>会 長</p>	<p>協議事項（３）その他について事務局から説明をお願いいたします。</p> <p><（３）その他、次回の予定などについて説明></p> <p>４ 閉 会</p>